

# 東京薬科大学 薬学部 カリキュラム・ツリー (2024年度1年生)

ディプロマ・ポリシー：DP

DP1 豊かな人間性を備え、生命の尊厳について深く理解し、総合的に患者・生活者をみる姿勢を身につけている。

DP2 薬剤師として人の命と健康な生活を守る使命感、責任感、及び倫理観を持ち、社会における医療の役割を理解している。

DP3 薬学的専門知識と技能に加え、高度な先端的情報・科学技術を活用して問題解決する能力を修得している。

DP4 患者や生活者、医療者と良好なコミュニケーションをとり、多職種連携を構成するチームの一員として薬物治療を実践することができる。

DP5 課題発見・解決に資する科学的思考とともに、生涯にわたって学び続ける姿勢を身につけている。

卒業  
コンピテンス

- ① 生命・医療倫理
- ② コミュニケーションとチーム医療
- ③ 薬学及び関連領域の知識
- ④ 薬物治療における専門的実践能力
- ⑤ 社会貢献
- ⑥ 薬学・医療領域における科学的探求能力

学び

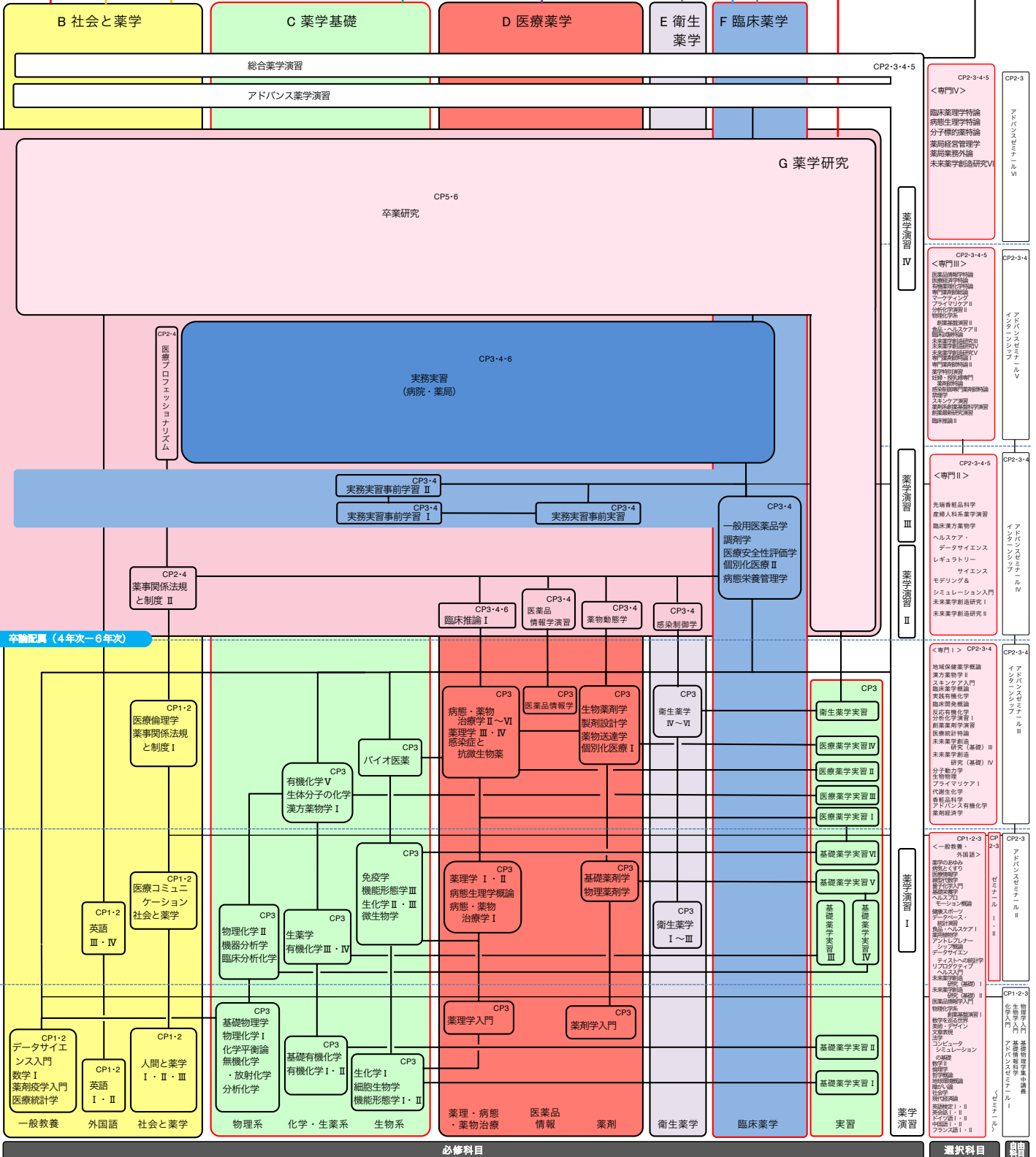
◆ 統合して学ぶ  
◆ 課題研究で学ぶ

問題発見力  
問題解決力

現場で学ぶ  
社会性

薬と生体を学ぶ・薬物治療と情報を学ぶ・実験から学ぶ  
患者の心を学ぶ・薬と社会を学ぶ

薬学の基礎を学ぶ  
薬学入門



カリキュラム・ポリシー：CP

CP1 専門科目とともに、科目区分「一般教養・外国語」の人文・社会・自然科学に係る幅広い分野の科目の履修を通じ、医療を担う薬学人に相応しい豊かな人間性と高い倫理観の涵養を図る。  
CP2 「社会と薬学」の各科目において、薬剤師としての人間性や社会性、基本的概念（使命感、責任感、倫理観）、コミュニケーション能力など、医療現場や地域社会における活動の基盤に係る知識、技能、態度の修得を図る。  
CP3 「基礎薬学」、「医療薬学」、及び「衛生薬学」の各科目において、薬学専門分野の基本的な知識、技能の修得を図る。

CP4 「臨床薬学」の各科目において、薬物治療や多職種連携、医療マネジメントの実践、及び地域医療や公衆衛生への貢献等、臨床で求められる基本的な能力の修得を図る。  
CP5 「薬学研究」における課題研究により、薬学的課題を発見し、研究倫理に則って適正に研究を実施し、学術研究としての結論を導く科学的探究能力の修得を図る。  
CP6 臨床実習や課題研究を通じて、自己及び他者と共に研鑽し、生涯にわたって学び続ける態度の修得を図る。